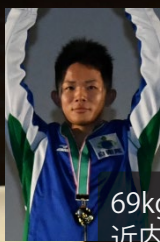


体育学校 4階級 制覇

若きエース 近内2曹
初V



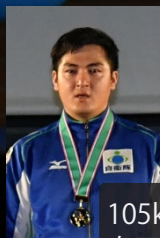
56kg級優勝
本木 和真



69kg級優勝
近内 三孝



62kg級優勝
高尾 宏明



105kg級優勝
白石 宏明



5月25日から5月27日までの間、平成30年度全日本ウエイトリフティング選手権大会が石川県金沢市で行われ、体育学校ウエイトリフティング班から11名が出場した。本大会は、アジア大会(8月)・世界選手権(11月)の代表選考会を兼ね、今年のウエイトリフティング日本一を決める重要な大会である。男子69kg級の近内三孝2等陸曹(本年度採用の体育特殊技能者)が初優勝。男子56kg級の本木和真2等陸曹が、大会2連覇。男子62kg級の高尾宏明3等陸尉が、本階級で初制覇(56kg級含め3回目の優勝)。男子105kg級の白石宏明2等陸尉が、トータル377kgをあげ、本階級5回目の優勝。平成28年の94kg級での優勝を含め、通算6回目の優勝を飾った。また、同じく男子105kg級の田中太郎2等陸曹が、スナッチ176kgの日本新記録を樹立し、トータル376kgの第2位で表彰台に上がった。自衛隊体育学校として4階級で優勝を成し遂げ、本大会での自衛隊体育学校の威容を示す素晴らしい結果となった。

近内 69kg級 初制覇

世界への挑戦 始まる!

スナッチを第3位で終え、トップの宮本昌典選手(東京国際大学)を7kg迫る展開となった近内2曹は、クリーン & ジャークで大きな勝負に出た。172kgを成功させた宮本選手を上回るため、2回目で180kg(自身の持つ日本記録)に挑戦。3回目の試技で宮本選手に1kg競り勝ち、トータル324kgの大会新記録で、悲願の全日本初優勝を飾った。

試合後、近内2曹は、「社会人1年目で優勝できてうれしい。自衛隊という



喜びの雄叫びをあげる近内2曹

新しい環境での初調整。日本新記録を狙っていたが、まだまだ実力不足だった。今後は、試合での成功率を上げる練習に心掛け、アジア大会及び世界選手権というステージで戦える選手となり、2020年東京五輪でのメダル獲得を目指したい。」と今後の抱負を熱く語った。



56kg級優勝
本木 和真
兵庫県出身・23才

安定した試技を見せた本木2曹

実力を証明した本木 56kg級2連覇

男子56kg級に出場した本木2曹は、試合後、「右肩のケガで調整が遅れていた中で、優勝できてうれしい。最初のスナッチで足首を痛めたため、無理せず勝つことに集中していた。今後は、国際大会で戦える選手を目指し、さらに努力していきたい。」と今後の抱負を語った。



平成30年度 第78回全日本・第32回全日本女子ウェイトリフティング選手権大会



62kg級優勝
高尾 宏明
宮崎県出身・26才

世界2位の糸数選手に競り勝った高尾3尉

62kg級優勝



105kg級優勝
白石 宏明
福岡県出身・28才

C&J 211kgをあげ逆転勝利の白石2尉

意地を見せた高尾 62kg級制す

男子 62kg 級に出場した高尾 3 尉。本階級は、昨年 11 月の世界選手権大会の銀メダリスト糸数陽一選手（警視庁）を擁する厳しい階級である。

129kg を失敗し、127kg で試技を終えた高尾 3 尉に対し糸数選手は、3 回目の 128kg を成功し 1 kg リードする展開となった。後半のクリーン & ジャークでは、3 回目に 156kg をあげた高尾 3 尉が 154kg で 3 回目の試技を終えた糸数選手をトータル 1 kg 上回り、見事 62kg 級に階級変更後の初優勝を飾った。試合後に、高尾は、「優勝できたことはうれしいが、記録が良くなかったので、満足していない。今後は、記録をさらに伸ばしつつ成功率をあげるトレーニングを行い、国際大会で最高のパフォーマンスを発揮したい。」と更なる決意を語った。

白石 王者の貫禄

105kg級 実力差示す！

男子 105kg 級は、白石 2 尉と田中 2 曹との同門対決となった。当初スナッチで 10kg 差をつけられた白石 2 尉だったが、得意のクリーン & ジャークで 211kg に成功。トータル 1 kg の僅差で田中 2 曹を退け、優勝の栄冠を手にした。試合後、白石は「優勝できてほっとしている。『勝ちたい。』という気持ちが良い結果につながったと思う。スナッチで 10kg 差であれば、逆転できると思っていた。今後は、しっかりと体力をつけ、どんな状況でも結果が残せるようにメンタル面も強化し、心技体が充実した強い選手になりたい。」と更なる決意を語った。

田中 日本新記録達成！

スナッチ 176KG

記録更新も満足せず 前へ！

男子 105kg 級に出場した田中 2 曹は、試合後、「日本新記録を出して優勝することを目標に本大会に望んでいたが、白石選手に負けたことは正直悔しい。やはりクリーン & ジャークでの実力差を感じている。目標重量であるトータル 376 kg がクリアできたことには、ひとまずほっとしている。今後は、それぞれの試技で記録を伸ばし、世界で通用する選手を目指す。」と今後の決意を誓った。



105kg級第2位
田中 太郎
岡山県出身・24才

日本新記録のスナッチ176kgをマークした田中2曹

競技説明

スナッチ(S)

バーベルを1回の動作で頭上まで持ち上げる。

クリーン&ジャーク(C&J)

バーベルを1回目の動作で肩の位置に持ち上げ、2回目の動作で一気に頭上まであげる。

トータル(T)

上記の2種目を3回ずつ実施した合計重量のこと。
このトータルの最高重量で、順位を競う。

総 合 成 績 (入賞者)

競技階級	階級	氏 名	記 録	順位	出身県
			S C&J T		
56kg 級	2 曹	本木 和真	110kg 130kg 240kg	優勝	兵庫
56kg 級	3 曹	玉寄 公博	111kg 123kg 234kg	3 位	沖縄
62kg 級	3 尉	高尾 宏明	127kg 156kg 283kg	優勝	宮崎
62kg 級	2 曹	押田 真	123kg 150kg 273kg	3 位	富山
69kg 級	2 曹	近内 三孝	144kg 180kg 324kg	優勝	福島
77kg 級	3 曹	熊川 雄太	150kg 160kg 310kg	3 位	福島
94kg 級	士長	熊ヶ谷翔太	145kg 185kg 330kg	4 位	東京
105kg 級	2 尉	白石 宏明	166kg 211kg 377kg	優勝	福岡
105kg 級	2 曹	田中 太郎	176kg 200kg 376kg	2 位	岡山
			(S 日本新)		
W63kg 級	2 曹	吉田 朱音	91kg 114kg 205kg	2 位	兵庫

PHOTO GALLERY

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページでご覧ください。
フォトギャラリーに写真を掲載しています。 http://www.mod.go.jp/gsdf/phy_s/index.html

自衛隊体育学校

検索

